

のびのび乃木っこ

乃木小学校特別支援教育部だより

令和5年4月13日

元気に新しい学年の生活がスタートしました。

春爛漫の暖かな日が続く季節になりました。乃木小学校も4月10日に始業式があり、令和5年度がスタートしました。また、4月11日には1年生149名を迎え、今から始まる小学校生活に夢や希望いっぱいのことと思います。

2年生以上の上級生も

「今年はどうな1年になるだろうか？」

「新しいクラスにはどんな友達がいるのだろうか？」

と気持ちも新たに新学年を迎えたことと思います。

新しいクラスになったことをきっかけに、ぜひ新しい友達との関係を広げて行ってほしいです。

しかし大人でも環境の変化があった時に緊張するように、子どもたちにとってクラス替えは大きな環境の変化となり、知らないうちに疲れやストレスがたまりやすくなっています。学校では子どもたちが新しい学級の生活に順応していけるように、細心の配慮や支援をしていきますが、ご家庭でも学校の様子を聞いていただいたり、スキンシップをとったりして、子どもが安心できるようにサポートをお願いします。



始まりが肝心です！

誰でも新しい生活が始まる時は、夢と希望でいっぱいやる気に満ちていることでしょう。今感じている、やる気一杯の気持ちで、新しい生活をしっかりと頑張りたいものです。

「何事も最初が肝心です。」とよく言いますが、その格言どおり、やる気一杯の今だからこそ、子どもたちには学校や家庭で何をやらなければいけないのか、しっかり確認して確実にできるようにしてほしいです。

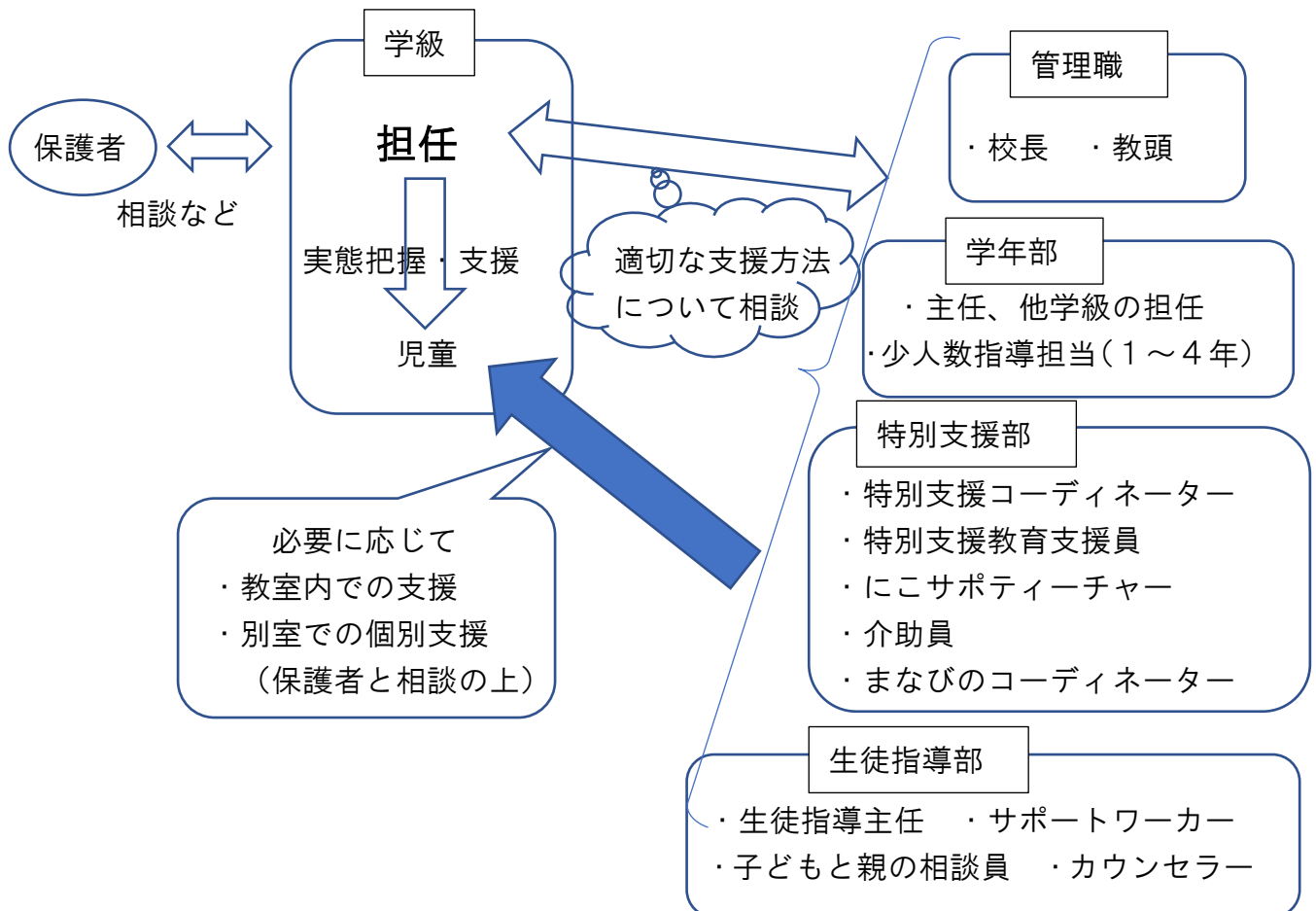
小学生の様子を見ていると、しっかりしていそうな高学年の子どもでも、やっぱりできないことがたくさんあります。「高学年になったからできて当たり前でしょう。」とか「小学生になったから、もうできるよね。」などと思うこともあるかもしれません。しかし本人は一生懸命やろうとしても、できないこともよくありますので、新生活のスタートこそ、学校や家庭での支援が重要だと思います。

たとえば、低学年のうち、家庭で宿題をしっかり見たり、高学年になっても学校生活のことを気にかけて声をかけてあげたりしていただきたいです。親から叱咤激励を受けて、いつも温かく見守られていると感じることで、子どもたちは安心して生活を送ることができます。

乃木小学校の支援体制について

小学校は学級担任制ですので、直接子どもたちを指導するのは担任になります。登校から帰るまでほとんどの時間を担任が指導しますので、担任の影響力は大きいと言えるでしょう。

しかし、校内には様々な立場の教職員がおり、いろんな場面で関わっています。保護者のみなさんがお子さんのことで相談される時に、学校の窓口となるのは担任ですが、他の教職員と協力しながら、お子さんの支援にあたっていることをご理解ください。



5、6年生は、教科担任制で学習支援をします。

昨年度から高学年で教科担任制が始まり、

「理科」、「算数」、「外国語」、「体育」などの教科は、専門の教員が指導をしています。

義務教育9年間を見通して専門性の高い教科指導を通じて、教育の質の向上を図ることをねらいとし、担任以外の複数の教員で子どもたちを指導するというメリットもあります。

「のびのび乃木っ子」は、乃木の子どもたちが、持てる力を十分に発揮し、のびのびと成長することを願って、小学校でどのような取り組みをしているか紹介する特別支援教育に関するお便りです。

今後定期的に発行していきますので、ご覧ください。